

氏名	河 本 紀 一		
学位の種類	医 学 博 士		
学位授与番号	乙 第 1508 号		
学位授与の日付	昭和59年12月31日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）		
学位論文題目	抗 RNP,抗 Sm 抗体の臨床的研究 第1編：各種膠原病における抗 RNP,抗 Sm 抗体の臨床的研究 第2編：全身性エリテマトーデスに認められる中枢神経症状の臨床免疫学的研究 ——抗 RNP 抗体との関連性において——		
論文審査委員	教授 木村郁郎	教授 長島秀夫	教授 折田薫三

学位論文内容の要旨

各種膠原病において抗 RNP,抗 Sm 抗体と臨床症状との関連を検討した。SLE については、抗 RNP 抗体は56%、抗 Sm 抗体は31%に陽性で、抗 RNP 抗体陽性 SLE は陰性例に比し、レイノー現象、中枢神経症状が高頻度で、LE 細胞現象は低頻度であった。抗 RNP 抗体陽性、抗 Sm 抗体陰性 SLE は腎症が低率、n-DNA 結合能上昇、低補体価が低率という特徴があった。また抗 RNP 抗体陽性乾燥症候群は陰性例に比し発熱、関節痛、レイノー現象、紅斑、白血球減少が高頻度でリウマチ因子が低頻度であった。確診膠原病を含まない MCTD 例は確診膠原病を含む MCTD 例に比し Swollen hande,乾燥症候群が高率で血清学的に抗 RNP 抗体単独陽性という特徴があった。SLE において中枢神経症状を合併した症例は、レイノー現象、抗 RNP 抗体が高頻度で、腎症、LE 細胞現象が低頻度であった。抗 RNP 抗体陽性の SLE はステロイド剤増量後中枢神経症状の出現に留意すべきと思われた。

論文審査の結果の要旨

本研究は膠原病における抗 RNP 抗体、抗 Sm 抗体について臨床的に研究したものであるが、従来十分検討されていなかったこれらの抗体と臨床症状との関係について、特に抗 RNP 抗体とレイノー現象とか中枢神経症状など特異的な関連を示す場合があるこ

とを認め、重要な知見をえたものとして価値ある業績であると認める。
よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。